

平成19事業年度

決算報告書

自：平成19年4月1日

至：平成20年3月31日

国立大学法人島根大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人 島根大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,807	10,831	24	(注1)
施設整備費補助金	1,644	1,644	0	
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	48	117	69	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	56	56	0	
自己収入	14,183	14,341	158	
授業料、入学料及び検定料収入	3,633	3,624	△ 9	
附属病院収入	10,434	10,447	13	(注3)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	116	270	154	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	812	1,002	190	(注5)
引当金取崩	0	0	0	
長期借入金	397	397	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	3	3	(注6)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	100	311	211	(注7)
計	28,047	28,702	655	
支出				
業務費	21,530	20,819	△ 711	
教育研究経費	12,072	11,642	△ 430	(注8)
診療経費	9,458	9,177	△ 281	(注9)
一般管理費	2,499	2,628	129	(注10)
施設整備費	2,182	2,181	△ 1	(注11)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	48	117	69	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	812	835	23	(注13)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	976	976	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	28,047	27,556	△ 491	
収入-支出	0	1,146	1,146	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金の決算金額には、前年度よりの繰越金24百万円を含んでおります。
- (注2) 補助金等収入については、大学改革推進等補助金等の採択の増加により、予算金額に比して決算金額が69百万円多額となっております。
- (注3) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮及び診療体制の充実等に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が13百万円多額となっております。
- (注4) 雑収入については、預金利息の受入、科学研究費補助金間接経費の受入等の増加により、予算金額に比して決算金額が154百万円多額となっております。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、前年度以前における繰越額のうち使用見込額51百万円を当初予算に計上していなかったこと及び外部資金の獲得に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が190百万円多額となっております。
- (注6) 承継剰余金については、当初予算に計上していなかったため、予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっております。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階での予定を含め、教育・研究活動の向上を図るため計画の見直しを行ったため、予算金額に比して決算金額が211百万円多額となっております。
- (注8) 教育研究経費については、目的積立金取崩額の使用により増額となったが、退職者の後任補充に時間がかかること、人件費抑制により減少したこと及び経費節減に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が430百万円少額となっております。
- (注9) 診療経費については、目的積立金取崩額の使用により増額となったが、医員等が計画員数に満たなかったこと及び経費節減に努めたことにより、予算金額に比して決算金額が281百万円少額となっております。
- (注10) 一般管理費については、目的積立金取崩額を耐震改修工事に伴う移転費等に使用したこと及び附属病院院内保育所業務委託料の増額等により、予算金額に比して決算金額が129百万円多額となっております。
- (注11) 施設整備費については、目的積立金取崩額による整備が予定より安価であったため、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっております。
- (注12) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が69百万円多額となっております。
- (注13) (注5)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっております。